

「洋上風力発電システム実証研究」の概要

1. 概要

日本近海の厳しい気象・海象条件などに適した、安全で信頼性の高い風車や、基礎の設計・施工方法、運転保守方法を確立するとともに、洋上の着床式風力発電設備が環境に与える影響を調査する。

(1) 日本の自然環境に適した洋上風力発電設備の開発

台風による暴風・高波浪や地震に対して安全で、塩害などを受けにくい、日本型の洋上風車と基礎などを開発するとともに、洋上に着床式風力発電設備を1基設置して、技術を検証・確立する。

(2) 洋上風力発電設備の運転保守方法の確立

遠隔監視技術の利用拡大など、陸上の風車に比べてアクセスが難しい洋上風力発電設備に適した運転保守方法を確立する。

(3) 環境影響調査

洋上風力発電設備が、海生生物や鳥類などに与える影響を調査する。

(4) 洋上風力発電設備の設計指針案の作成

安全で信頼性の高い洋上風力発電設備の設計・施工方法、運転保守方法などの設計指針案を作成する。

2. 研究期間

平成22年6月(予定)から平成26年3月まで

3. 設置場所

千葉県銚子市の南沖合約3km(水深約11m)

「洋上風況観測システム実証研究」の風況観測タワー近傍

4. 事業費(契約締結前のため概算額、消費税抜き)

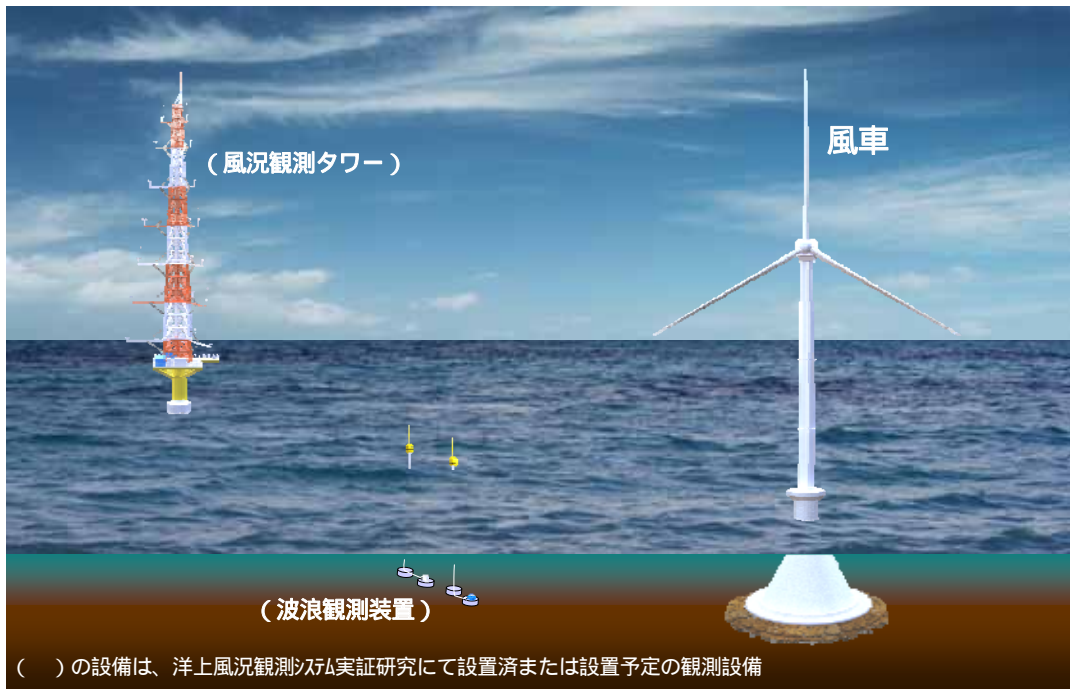
約33.3億円

うち、当社負担額：約11.1億円(NEDO負担額：約22.2億円)

5. 当社の実施部署

技術開発研究所 設備基盤技術グループ、洋上風力発電技術グループ
建設部 新エネルギー計画グループ

6. 実証研究設備の完成予想図



以上